

## 「かえでスタイル(仮称)」 の確立を目指して

—金沢工業大学で働いた10年を振り返って—

人間科学部人間科学科

長谷川明弘

2013年6月19日(水)15:00-16:30

合同教授会「授業改革セミナー」

主催:FD委員会

## 東洋英和が直面する 大学改革に触れて

- 東洋英和への着任前から、内外の大学関係者に会うと金沢工業大学での取り組みについて尋ねられる機会が多かった
- 2013年5月1日の「大学改革セミナー」でのショック(?)
- 今回は、東洋英和スタイル(かえでスタイル(仮称))の確立に向けての話題提供

## 本日の話題

- 金沢工業大学の概要
- 教員の職務
- 学習支援計画書
- 学生支援の仕組み
- 保護者会・成績送付

## 金沢工業大学について

- 金沢工業大学の概要
- 1965年単科の工科大学として設立
- 2004年から3学部の工科大総合大学
  - 工学部・建築環境学部・情報フロンティア学部
    - 文理融合学科を有し、大学院では臨床心理士の養成をしている心理科学研究科を工科大として2004年に日本で初めて設立した
- 学生数: 7,000名程(1学年1,600名程)
- 教職員: 620(350+270)名程
- 偏差値: 43-45(大手予備校の平均)
- 就職率(2012年度): 96.8%(上場企業20.0%,大手企業26.1%)

## 数字の意味するものは？

# 50:30:20

5

## 教員の職務について 1/4

金沢工業大学学長 石川憲一

- 学内役職の責務と諸行事への参加
  - 本学は年間予算の8割以上を学生(保護者)からの授業料で賄っている大学あることから、当然のごとく【教育】を中心とする大学であると言えます。そこで、教員の能力の内、原則として教育に「5割」、研究に「3割」、そして残りの「2割」を学務運営・社会貢献に振り向けることを念頭において活動すると共に、次の諸点を遵守してください。

6

## 教員の職務について 2/4

金沢工業大学学長 石川憲一

1. 本学の教育は、授業時間割表にある講義や実験及びオフィスアワーなど担当時間のみで実施できるものではありません。大学設置基準によれば、大学における1単位は15時間の授業と30時間の予習復習が基本であり、そのための教材準備や学習指導も授業の一環ですので、授業担当のない日であっても出勤しなければなりません。
  - 尚、本学は教員に対しては裁量労働制を採用していますが、月曜日から金曜日まで(行事が予定される場合は土曜日まで)が出勤日です。時間管理は自己責任に於いて行い、不在となる場合は所在や連絡先を明確にしてください。

7

## 教員の職務について 3/4

金沢工業大学学長 石川憲一

2. 教員は学生の修学指導や課外活動の指導も担当しなければなりません。また、本学の教育運営に必要な(役職名連記のため略)などの各部長・副部長並びに関連する各種委員会の委員など、学内の役職を務めなければなりません。
3. 進路指導は、前述したように重要な「教育活動の一環」であり、(略)各研究室に所属する学生の進路指導に責任を持たなければなりません。

8

## 教員の職務について 4/4

金沢工業大学学長 石川憲一

4. 学生と教員のコミュニケーションを密にし、学生の自学自習を支援するための時間として、最低週2コマのオフィスアワーを設けてください。また、学生からの質問があれば、いつでも応えられるようにメールアドレスなどのコミュニケーション手段を明示してください。
5. 学園及び大学の諸行事(入学式、卒業式、大学祭など行事の具体名の連記のため略)は本学の節目となる行事であり、重要な校務ですので積極的に参加しなければなりません。また、(教授会や委員会などの連記のため略)は、各教員の職位における重要な校務ですので、必ず出席してください。

数字の意味するものは？

# 50:30:20

教育:研究:学務・社会貢献  
研究者である前に教育者であれ

## 金沢工業大学の大学改革の歴史

- 1990年代前半(あるいは1980年代後半)から開始
  - 迫り来る全入時代に備えるため
    - 大学進学率が増えた米国の大学へ教職員を派遣
  - 教育の仕組みを大幅改変
    - シラバスの改革
    - 教育支援のための各センターの設置
  - 教員と職員の意識改革
- 1990年代半ばから実質的な活動開始
  - 1994年に就任した石川憲一学長の強固な行動力・運営力
    - 2学期制→3学期制→2学期制
    - 90分授業→75分授業→60分授業→45分授業→90分授業
  - 教員・職員の協力体制の強化
  - 外部評価の高まりによる改革推進・維持

シラバス(学習支援計画書)の工夫

- シラバスとは金沢工業大学では呼ばない
- **学習支援計画書**
- 学生との契約書
- 科目間の連携を盛り込む(FD含む)
- 学生が自ら学ぶ工夫
  - 目標、予習・復習、成績評価

## 学習支援計画書(シラバス)の内容

- 授業科目の学習教育目標
- 授業の概要・学習上の注意
- 教科書・参考書
- 履修に必要な知識
- 行動目標(「〇〇することができる」-学生主体-
- 達成度評価(評価方法・指標と評価割合)
- 評価の要点
- 達成の目安
- 授業明細表(授業毎に学習内容と運営方法と課題)

cf.本学で担当科目の「心理療法学」は、金沢工業大学の学習支援計画書を参考に作成

## 教育改革の一例

- 定期試験を廃止
  - 過程による結果重視
    - 毎日学習する習慣を確立してもらうため小テスト、レポートをこまめに課す
- 様々な指標での評価
  - 成果物、レポート、小テスト・クイズ、試験
    - 試験の割合は40%以下とする
- 課題には必ずコメントつけて返却
- 自己点検授業(成績評価基準の開示)
- 成績評価に対する学生からの異議申立

## 学生個人情報の共有

厳重なセキュリティのもと教員・職員協力体制運用

- 連絡先(保護者と学生)
- 入試形態(AO、一般、センター)
- 成績・GPA、出席率(学期毎)
- 受講状況(時間割)
- 科目別の出席情報(毎週確認可能)
- 面談記録(教員・職員による随時)
- 学内機関利用記録
  - 学習支援、進路、資格、課外活動など

## 保護者会と成績送付 すべては学生のために

- 全国各地から学生が石川県にある金沢工業大学へ進学してきている
- 大型連休明け(5月末)
  - 金沢で保護者会の総会
- 夏期休暇中
  - 各県に教職員がチームで出向いて保護者向けに説明会。週末に2箇所程度をまわる。
  - 夜は、OB会に参加(就職支援目的)
- 成績は、学生に断った上で保護者に送付・配付

まだ伝えきれない取り組み  
むしろ「かえでスタイル(仮称)」の確立を

- あくまで金沢工業大学の実践に過ぎない
  - 伝えきれない取り組みはまだ多数ある
- 一方で東洋英和スタイルを構築するためのより良い実践があるのでは……
- 「英和の強み」は何か
- 今回の話題提供は、教職員で大学改革に取り組み、考えるきっかけ
- ご清聴ありがとうございました。